

【問一】三の回答順は自由でよいが、必ず問の番号を記してから答えること】

問一 次の十五項目の中から十項目を選び、ごく簡潔に説明せよ。

(時代の分かるものは必ず時代を記すこと)

ア 蘇黄	イ 性靈説	ウ 郝景芳	エ 剪灯新話	オ T P R (Total Physical Response)
カ 李贄	キ 尖团音	ク 搜神記	ケ 内心構造	コ 左翼作家聯盟
サ 駢文	シ 袁枚	ス 四部叢刊	セ 「样板戏」	ソ M L A T (Modern Language Aptitude Test)

問二 次の【ア】【イ】のうち、いずれか一つの問題を選んで解答せよ。

【ア】次の文章を読んで、全文を日本語に訳せ。

姚元崇與張說同為宰輔、頗懷疑阻、屢以事相侵、張銜之頗切。姚既病、誠諸子曰「張丞相與我不叶、釁隙甚深。然其人少懷奢侈、尤好服玩、吾身歿之後、以吾嘗同寮、當來弔。汝其盛陳吾平生服玩・寶帶・重器、羅列於帳前。若不顧、汝速計家事、舉族無類矣。目此、吾屬無所虞、便當錄其玩用、致於張公、仍以神道碑為請。既獲其文、登時便寫進、仍先礪石以待之、便令鐫刻。張丞相見事遲於我、數日之後必當悔、若却徵碑文、以刊削為辭、當引使視其鐫刻、仍告以聞上。」訖姚既歿、張果至、目其服玩三四、姚氏諸孤悉如教誡。不數日文成、敘述該詳、時為極筆。……(中略)……後數日、張果使取文本、以為詞未周密、欲重為刪改。姚氏諸子乃引使者視其碑、乃告以奏御。使者復命、悔恨拊膺、曰「死姚崇猶能算生張說。吾今日方知、才之不及也遠矣。」(『太平廣記』卷一七〇所引「明皇實錄」)

【注】

姚元崇・張說：玄宗開元年間的宰相 釁隙：仇怨 無類：無幸存者 神道碑：立於墓道前的石碑
 寫進：上報給皇帝 礪石：準備墓石 奏御：上奏皇帝

【イ】次の文章を読んで、傍線部①②③を日本語に訳せ。

從來說養兒傳後，指望一脈可繼，要後人傳個好，不是要後人傳個不好。所以為父母者，必該教子讀書識字，望他向上習善，就不能個發科發甲，顯親揚名，只願做個端端正正，曉得行孝，不作非為的人，品行可傳，便為有後。①若是做父母的，一味禽犢之愛，少時送在學中，先生拘管，他偏要百般護短，把讀書掛個名兒，放在外邊；入於匪類，他偏說人來引誘，再不怪自己孩兒；不學長進，或有人勸其還該教訓，便說苦我膝下沒個七男八婿，止有這點骨血，傳留做種，且聽其尋些快活，博得他長大，再作區處。該成人學好，不該成人學好，都是命裡注定的，只看公子王孫，上有好爹好娘，外有明師賢傳，豈少教導的人，卻多有不長進的。可見教訓原沒相干。

自古道：「生來的秀氣，教來的臭氣。」書上又說道：「父子之間不責善，責善則離。」②父子本該相愛，何苦做這樣死冤家？拘頭管腳，傷盡一團和氣。執此一班偏見，遂致養成驕惰，縱彼胡為。兒子要上天，巴不得裝個登雲梯；兒子要入地，恨沒有個開山斧。外邊去呼朋閒蕩，只道他有方情，有班輩；外邊去花賭吃酒，或是打十番，唱曲子，只道他知音識趣，玲瓏剔透，在人前坐得出，顯得能，不像三家村裡粗愚漢，但知自家的肉臭也香的。③那曉得失教之人，猶如野鷹着天飛，沒籠頭的馬，直狂放到不可收拾。喪身破家，以危父母，纔悔少時不曾拘管，卻已遲了。只為溺愛二字，擔誤了多少兒孫，連父母也不知受人多少談笑。

【注】

禽犢之愛：比喻只疼愛自己的子女，不知管教。 區處：處理，籌劃安排。 方情：交情，情誼。

問三 次の文章を読んで、以下の問いに答えよ。

- (1) 「」で囲まれたA・Bの部分を日本語に訳せ。
(2) 波線部①と②の現代中国語音をピンインで記せ。(声調符号も含む。横書きすること)

※この問題は、著作権の関係により掲載できません。

王愿坚《党费》より
(《王愿坚(中国当代作家选集丛书)》人民文学出版社, 1993 年)

——これより先の余白には絶対に記入しないこと——

(裏へ続く)

[illegible][illegible]

——これより先の余白には絶対に記入しないこと——

(裏へ続く)

———ここから記入すること———

——これより先の余白には絶対に記入しないこと——